

# 御食国（みけつくに） 福井県小浜市「農泊」現地視察&企画販売会議 （モニターツアー）参加募集要項

福井県小浜市  
8名募集!!

## 視察の目的

- ◆ 「御食国（みけつくに）小浜」を知る
- ◆ 北陸新幹線敦賀まで延長に伴う新しいディステーションの視察
- ◆ 重要伝統的建造物群保存地区に古民家を改装した分散型ホテル視察
- ◆ マインドフルネスをテーマにした里山滞在、「松永六感藤屋」
- ◆ 国宝明通寺での瞑想体験・ベジタン対応ができる食事
- ◆ 漁村滞在、海の前のオーベルジュレストランなど「農泊」の魅力を体感いただく
- ◆ 鯖街道をテーマにしたアクティビティの説明

## ■ 旅行期間

2022年10月3日（月）～4日（火） 1泊2日

## ■ 募集人数

8社（8名）

## ■ 対象

国内旅行事業者（国内旅行・訪日オペレーターにおいて企画・造成・営業販売に関与している旅行会社社員とする）

## ■ 参加条件

参加費用は無料ですが、現地での販売会議における意見交換とアンケート及び報告書の回答をお願いいたします。

## ■ ツアー内容

## ■ 申込 締切：8月5日（金）

以下Formsよりお申込みください。

※コースはご希望に沿えない可能性もございますこと、予めご了承ください。

<https://forms.office.com/r/kuYMvmKEPE>

## ■ 協力

松永地区農泊推進協議会／内外海地区活性化プロジェクト推進協議会

## ■ その他

・行程中は貸切バスで移動します。

・宿泊は1名1室利用となります。

・勤務先またはご自宅から米原駅までの往復交通手段はご自身で手配いただき、後日旅費エビデンス（※）とともに事務局までご請求ください。

※JRの場合は切符のコピーまたは領収書、飛行機の場合は搭乗証明書をご提出ください。

### 1日目 10月3日（月）

時間	行程（Aコース） 宿泊：海のオーベルジュ志積	行程（Bコース） 宿泊：松永六感藤屋
10:00	米原駅集合後バスにて移動 <参考> (ひかり633号) 7:33東京発-9:47米原着 (ひかり644号) 9:33京都発-9:52米原着	
11:30	小浜市地産地消レストラン濱の四季で昼食・ガイダンス	
13:00	御食国若狭おばま食文化館見学	
14:30	小浜町家ステイ（古民家分散型ホテル）視察	
15:00	GOSHOEN視察 →北前船の商人が賓客をもてなすために建てた有形文化財のカフェ	
16:00	宿泊施設： 海のオーベルジュ志積到着	宿泊施設： 松永六感藤屋到着
	漁村路地裏散策体験	プライベート農園体験
18:00	オーベルジュレストランにて夕食	地元でその日採れた野菜をふんだんに使い、精進料理のイメージを覆す、華やかで美味しい料理の数々のコース夕食

### 2日目 10月4日（火）

時間	行程（Aコース） 宿泊：海のオーベルジュ志積	行程（Bコース） 宿泊：松永六感藤屋
7:00		国宝明通寺にて瞑想体験
8:00	朝食	朝食（明通寺の朝粥）
9:00	チェックアウト	チェックアウト
9:30	福井県漁連小浜支所／若狭小浜お魚センター →観見学ツアーの取組についてご案内	
	若狭フィッシャーマンズ・ワーク →蘇洞門巡り遊覧船について説明	
11:00	鯖街道サイクリングツアー説明	
12:00	プライベート農園体験 松永六感藤屋施設見学 松永六感藤屋にて昼食 →藤屋ベジパレット「今日の畑」と精進丼のショートコース	漁村裏路地散策体験 海のオーベルジュ志積施設見学 海のオーベルジュ志積にて昼食
13:30	明通寺で瞑想・拝観 ※本堂ではなく、客殿での対応となります	
14:30	まちの駅旭座にて企画販売会議 →治期の芝居小屋を移築した、小浜市のまち歩き拠点施設	
16:00	終了、米原駅までバスで移動	
17:30	米原駅到着、解散 <参考> (ひかり660号) 17:57米原発-20:12東京着 (ひかり649号) 17:53米原発-18:12京到着	

# 視察のポイント



## 国宝・明通寺本堂での 阿字観瞑想

福井県唯一の国宝の木造建造物である明通寺本堂にて、副住職の指導のもと、真言宗の瞑想「阿字観」を想体験することが出来ます。国宝の本堂での瞑想体験は全国でもここだけ。宿泊者限定の体験です。



## 松永六感藤屋

松永六感のお食事は、肉をはじめとした動物性タンパク質は使わない、野菜中心のヴィーガンコースです。お客様自ら農園で収穫した野菜・ハーブや、地元でその日採れた野菜をふんだんに使い、野菜だけとは思えない、華やかで美味しい料理をお楽しみいただけます。



## プライベート農園体験

松永六感の自社農園では、ちょっと珍しいハーブと野菜を年間200種類以上栽培しています。専属のガーデナーとともに、農園を散策し、季節の野菜やハーブを収穫する体験が出来ます。



## 海のオーベルジュ志積

海のオーベルジュ志積では、かつての民泊として使われていた建物をレストランと宿泊施設にリノベーション。お食事は、地域で獲れた季節の新鮮な魚介類に加え、小浜で獲れた野菜や、若狭のジビエなども取り入れた、今、ここでしか食べられない料理をお召し上がりいただけます。



## 漁村路地裏散策

海と山が一体となったような美しい若狭湾には、小さな漁村が点在しています。細い路地を散策したり、砂浜をご案内ビーチコーミングをしたり、夕暮れとともに漁火（いさりび）が灯るのを眺めたりと、漁村の暮らしをご案内します。



## 小浜町家ステイ

伝統的町並みが残る「小浜西組」を中心に、町家をグループで1棟貸し切ってお泊まりいただく「小浜町家ステイ」。お風呂、トイレ、キッチン、ベッドを備えており、町家で暮らすような体験をすることが出来ます。



## GOSHOEN（護松園）

北前船の船主も多数輩出している小浜の中でも最も大きかった「古河屋」が、小浜藩の藩主をもてなすために建てた迎賓館「護松園」をカフェ・コミュニティスペース「GOSHOEN」として再生。小浜の藩主も景色を楽しんだ庭を眺めながら、ゆっくりとお寛ぎいただけます。



## 朝競り見学ツアー

小浜漁港では、朝7:30よりその日に水揚げされた魚を魚屋が競り合う、朝競りを見学することが出来ます。漁船が市場に船を横付けて魚を下ろし、その場で仕分けて、市場で次々と競られていきます。競られた魚は、漁港から徒歩5分の場所にある「若狭小浜お魚センター」で買うこともできます。



## 若狭フィッシャーメンズ・ワーフ

「蘇洞門（そとも）めぐり」遊覧船は、日本海の荒波が作りあげたダイナミックな景観をご覧いただき、約60分のクルージングです。押し寄せる波が作りあげた海の芸術とともに、クルージングの醍醐味をたっぷりとお楽しみ下さい。



## 御食国若狭おばま食文化館

「食のまちづくり」を進める小浜市の中核施設。若狭や小浜を中心に、海・山・畑で収穫される食材を使った日本食を紹介しており、普段、食べている和食を始め、若狭の鯖料理・正月料理・行事料理などについて知ることが出来ます。若狭塗箸の研ぎ出し体験もすることが出来ます。

お問合せ先

農泊旅行博・商談会運営事務局

株式会社JTB 霞が関事業部 営業第三課 担当：渡辺、宇賀神

TEL：03-6737-9263

E-mail：[nouhaku-travelfair@jtb.com](mailto:nouhaku-travelfair@jtb.com)